

新潟市にスケートボードパーク建設するための署名

はじめに

私達は、B3スポーツ（スケートボード、インラインローラー、BMX）の愛好家です。他のスポーツに専用の競技場があるように、私達にも活動する場所が必要です。決して迷惑をかけたくて新潟駅前で遊んでいたのではありません。私達の大好きなB3スポーツがそのまま絶えていく事を見過ごすわけにはいきません。新潟駅前や他禁止場所での問題を繰り返さず、新しいスポーツを救う為に、私達はスケートパークの建設を目指して立ち上がりました。愛好者の皆さん、共感頂ける市民の皆様、どうか署名活動にご協力ください。

スケートパークとは（他地域の例）

スケートパークとは、B3スポーツを安全に行うための施設です。公園の一角に、ハーフパイプやボウル、ジャンプ台などを配置してあります。現在、本場アメリカでは街中に数多くこうしたスケートパークが作られており、地元の自治体や市民団体が運営されています。個人や、仲間内で作っている人もいます。日本でも、近年のエクストリームスポーツの盛り上がりを受け、スケートパークを作る自治体が増えてきました。有名な成功例が、地元の若者が市長に直訴したのがきっかけだという、新潟県南魚沼市スケートパークです。南魚沼市のスケートパークには近隣一円からライダーが集まり、スケートパーク目当てに全国からスケーターがやってきているという例もあります。

スケートパークをつくる意味

1) 青少年の育成

「このスポーツをしていなかったらつまらない不良になっていたかも知れない。」…これはあるトップライダーの言葉です。「スケートパークに来るヤツは不良!」と誤解されている方はぜひ考え直して下さい。スケートパークでは、10歳前後から40歳前後の人までが同じフィールドで遊ぶのです。必ずや健全な青少年の育成の場となるはずです。

2) アスリートの育成

B3で培ったバランス感覚や身体能力を生かして活躍している各種スポーツのトッププロが数多くいます。モトクロスのプロライダーの多くは小さい頃はBMX、スノーボードのトッププロはほとんどがスケートボード出身です。一躍有名になったモーグルスキーもインラインスケートをオフトレーニングとして取り入れている事は有名です。この様にスケートパークがアスリートの育成に多大な影響を与えている事をご理解頂けると幸いです。

3) 経済効果

いいスケートパークには、日本中から、時には世界中から人が来ます。この街にしかないスケートパークとなれば、トップクラスのプレーヤーやライダーが噂し、はるばる訪れ、雑誌に掲載される事もあります。新しいスケートパークに寄せる期待…「是非行きたい」という問い合わせがすでに多数寄せられています。

4) 市民との共存

B3スポーツに関して、邪魔だ、迷惑だと反感を持っている皆さんに対し、私達も反省しなければなりません。しかし、他のスポーツに置き換えて考えてみてください。私達にはコートもグラウンドもありません。スケートパークがあれば私達も迷惑行為や非合法行為にもならない様、このスポーツに打ち込めるのです。私達は気持ちよく認め合える関係を望んでいます。

署 名 欄

私は新潟市にスケートパークを作る事に賛同します。

氏名

年齢

性別

住所

電話番号

イベント名：MAKE PLAY GROUND

主催：新潟市スケートボード普及協会